平成２２年１１月　第９０号

スクランブル

編集委員：青少年対策大井第二地区委員会
山中小学校ＰＴＡ・大井第一小学校ＰＴＡ
伊藤学園ＰＴＡ・伊藤中学校ＯＧ

編集・発行:大井第二地区スクランブル編集委員会
品川区大井２-２７-２０ 大井第二地域センター内
TEL(３７７２)２０００　FAX(５７０９)７６２７
URL:http://www.city.shinagawa.tokyo.jp/hp/menu000007700/hpg000007613.htm

祝！月刊化☆ロゴもリニューアルされました☆

このたび、わがスクランブルが　月刊化　されました！　今期途中からとなったため、まだ編集委員一同手探り状態ですが、これまで以上にタイムリーに、盛りだくさんの内容をお伝えすることができると張り切っています。

前回号で、今までのスクランブルをおさらいしましたが、この号ではスクランブルの紙面や取り組みについてご紹介します。

秒読みにはいった　１００号　で大きく羽ばたけるように、ますます頑張って行きます。

大井第二地域センターのホームページには過去の「スクランブル」がすべてアップされています。ぜひ、ご訪問を！！

「スクランブル」製作の流れ

編集会議
（テーマ・担当決め）
↓
担当者が
取材・編集
↓
編集会議
（校正）
↓
校正確認
最終原稿
↓
発　行

ビッグテーマは表面（おもてめん）

表面ではその号一番大きなテーマが取り上げられます。第二地区内に住む方々にとっての大きな話題・重要な情報・知りたいこと・知ってほしいことなど、毎号話し合いを重ねて検討します。季節の話題や学校関連の話題、大井第二地区委員会の行事などがおおむね定番のネタになっています。

けっこう、ここを決めるのが大問題。話しているうちにとんでもない話題に話がうつり、でもそこから狙っていなかった思いもかけないネタが生まれ、逆に紙面が足りなくなる心配になったり…。産みの苦しみが喜びになる瞬間ですね。

月刊化されて校正の編集会議までの日程が短くなることが心配ですが、当面今までどおり「メイン・表面」で続けていくことにしています。

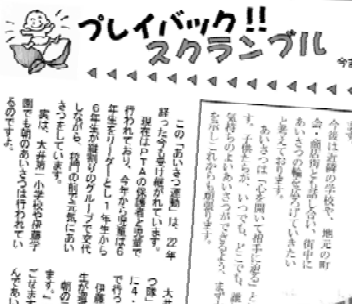
実は、今までは掲載する写真の点数にも制限がありましたが、今後はそれもなくなります。写真をたくさん使ったビジュアル重視の紙面もできると考えています。

おそるべし！　地元グルメ

裏面左上は連載記録更新中の「発見！まちのグルメ」です。平成１７年９月号のスタート以来、通常長くても２年サイクルで見直すところを３回目のサイクルに入っています。最初はお店の品物を食べ比べる内容で始まりましたが、だんだん品物とともにお店の紹介をするようになり、内容もぐっと身近で面白くなりました。

何気なく通り過ぎていたお店や利用していたお店でも知らなかったご主人のこだわり・思い入れなど、取材・編集している私たちも楽しみにしているコーナーです。

残念ながら、紹介したお店の中で、すでになくなってしまったお店もありますが、正直これほど長く続けていけるとは思っていませんでした。大型店に囲まれた都会の中で頑張っている地元のお店にこだわって、少しエリアを広げながら、一号でも多く続けていくことを目指しています。



大人気♪イラスト＆トーク

裏面右上はご存じ若者トークコーナー！長く続く人気のイラストで小・中学生のハートをがっちりゲットしています。

学校で配布された「スクランブル」はまずこの欄から読まれるという噂も…。そろそろ後継者の育成を、という作者の要望もあり、今号からは投稿も含め、読者のイラストなどを取り上げていくことになりました。第一回目は、伊藤学園美術部のご協力による作品です。いかがでしょう？　もちろん、そちらから先にチェック済みですか♪

ご安心ください！　我らが担当も不定期で作品を掲載していく予定ですので、毎月見逃さずにご愛読くださいね。

裏面下は　ゆるネタで

裏面下にも表面と同様な記事欄があります。ただ裏面は表面より少しくだけた内容、またボリュームが軽いものを取り上げることにしています。連載物にはこちらの欄が使われ、『知ってたつもり？』『ノスタルジアわが町』などが掲載されました。今号からは１００号に向けて『プレイバック!!　スクランブル』が始まりました。お楽しみに☆

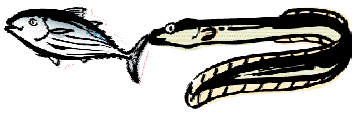
今後は、同様な内容とともに、皆さんからの投稿などで作られた記事もぜひ紹介していきたいと思います。

今後のスクランブルに要注目!!

投稿の募集は随時掲載。
取り上げてほしい話題やお問い合わせは
大井第二地域センター（３７７２－２０００）へ。

発見！まちのグルメ

おさかな屋さん



三間通りを大井町方面へ向かう途中の左手、裏手には天祖神社のある辺り、懐かしいたたずまいのお店があります。ご主人は昭和33年から魚屋一筋。年中無休で頑張っています。

お魚は、その日の新鮮なものをご主人の目利きで仕入れています。一見、ショウケースに品物が並んでいないようにも思えますが、ご主人に一声かけて下されば大丈夫。切りたてのお刺身や、スーパーでは見た事もないようなビッグサイズのアサリを取りだして下さいます。取材に伺った日は、いさき・ほうぼう・かんぱち・かつおなどをお刺身にしていました。

ご主人は「スーパーができてからは、商売がなかなか大変なんだよ。」とおっしゃいますが、常連さんに話を聞くと「品物がしっかりしてるから、お客さんがついているんだよ。」とお店の信頼度は高いのです。

開店はお昼ごろで、お客さんが多い夕方５時ごろに合わせて品物を用意しています。「写真なんか撮らないでよ。」と昔かたぎで照れ屋なご主人との会話も楽しいお店です。

【小虾・檜山】

イラストクランブル

◇第１回◆

10代の♥10代による♣10代のための投稿コーナー

新コーナー誕生!!を飾るのは、『学園生活』を描いてくれた伊藤学園美術部の《変人》さんだよ。イラスト一所懸命取り組む姿が目に見えるようだな～。《変人》さん、ありがとう!!

次号からは、読者のみんなからも投稿を募集していくよ。お楽しみに♪【山本】

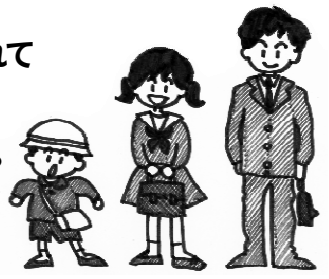
DOSKOI☆ITO アートギャラリー

学園生活

このような場に、この稚拙な絵をのせていただき、非常に感謝しております。これを糧に、日々精進していきたいと思います。

プレイバック!! スクランブル

昭和63年に創刊号が発刊されてから、今年でナンと23年目！！
今までの紙面を振り返ってみましょう。



今回は平成元年12月発行の第9号で紹介された山中小学校の「あいさつ運動」です。

あいさつ運動

山中小P.T.A

山中小が、あいさつ運動を始めて一年半が過ぎました。現在、ＰＴＡの役員・部長さん百数十名が毎月のあいさつ週間に交替で通学路に立ち子供達や通行人とあいさつを交わしており、大井署の婦警さんも一緒に協力して戴いております。

今後は近隣の学校や、地元の町会・商店街とも話し合い、街中にあいさつの輪を広ろげていきたいと考えております。

あいさつは「心を開いて相手に迫る」という意味があるそうです。子供たちが、いつでも、どこでも、誰に対しても気持ちのよいあいさつができるよう、まず大人が見本を示しこれからも頑張ります。

この「あいさつ運動」は、22年経った今も受け継がれています。

現在はＰＴＡの保護者と児童で行われており、今年から児童は6年生をリーダーとし１年生から6年生が縦割りのグループで交代しながら、校門の前で元気にあいさつをしています。

実は、大井第一小学校や伊藤学園でも朝のあいさつは行われているのですよ。

大井第一小学校では「あいさつ隊」と称して、6年生を中心に4・5年生が希望制・交代制で行っています。

伊藤学園では、5年生～9年生が週番で行っています。

朝の元気な「おはようございます。」は、一日が気持ち良く過ごせますよね。これからも、進んであいさつしましょう。

【石川(裕)・嶋村】